

研修名 保育内容研修8（デンマークの保育）

平成27年10月23日（金）13:30～16:00

講演 「自己肯定感を高める自然を生かした保育

～デンマークの保育から～

講師 大橋 喜美子 氏

## 1 講演要旨

### 1) デンマークの福祉について

「権力・管理・競争」ではなく「平等・対話・個の尊重」

### 2) デンマークの教育の基本

国民学校法に「自己実現」「自己決定」「社会性」「創造性」を大切に

### 3) デンマークの保育園の管轄は社会庁

総合保育園と森の保育園がある

保育者になるためには、4年間で何回にも分けて、数か月単位の実習が必要

### 4) 教育カリキュラム

ソーシャルサービス法8条により、すべての乳幼児、学童施設は「学びのプラン」作成義務づけ

① 子どもの全面的な人間形成・個の確立

② 人間関係・社会的能力

③ 言葉

④ 体と動き

⑤ 自然と自然現象

⑥ 文化的表現方法と価値

### 5) フライヤス・ヘープ保育園の実践から

実際の写真を見て学ぶ（朝 6:40 開園～17:20 閉園）

自然体で遊ぶ子ども

### 6) 森の保育園から学ぶ

実際の写真を見て学ぶ

### 7) 自己尊重感をはぐくむ保育・家庭教育

① 自己尊重感や自主性を育て、聴く力・話す力をつけ人間関係を構築する力を毎日の生活や遊びの中でつけていくこと

② 幼少期、知識や技能の獲得に走りすぎないで、自分のルールを自分で引けるこどもに

大野 睦子氏による

- ① 評価する言い方を出来るだけ減らす
- ② 肯定的（ポジティブ）な言葉を使う
- ③ 子どもの自分の中に生じている気持ちを、言葉で表現していく
- ④ 比較の対象は「他人ではなく自分の過去と」
- ⑤ 「子どもが誤ったことをしたこと」と「子どもの人権」は別
- ⑥ 子どものけんか・言い合いは成長に必要なこと
- ⑦ 幼少期の「自分で選ぶ・決める・する」の体験が自分の意見や意志をつくる。「選ぶ・決める・する」を小さい頃から習慣づけていく。自分の考えを持つように

## 2 感想

デンマークの保育も日本のわが園の保育も自然の中で子どもの心と体を育ていくのが同じとうれしく思いました。

結果をあせらず、子どもたち保育所時代にこそだいにすべきことをぶれないで実践していきたいです。

(記録 大山崎町第3保育所 山本恵理)

